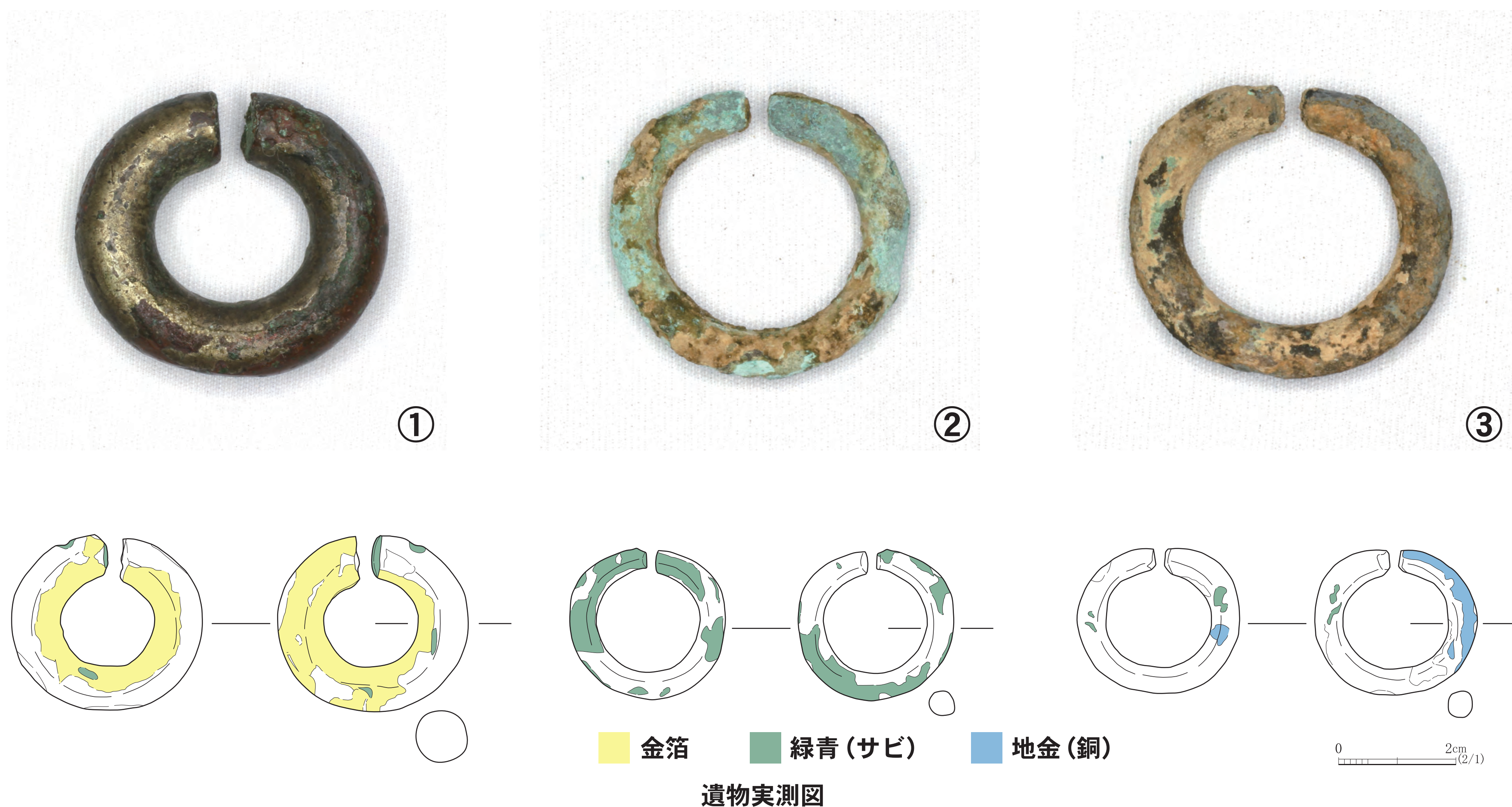


貴重な資料が残念な状態で

銅製耳環 3点



資料の概要

- 資料名：銅製耳環
- 所属時期：古墳時代～飛鳥時代か
- 出土地：不明
- 出土年月日：不明

この3点の耳環は、出土年月日、出土地域など全ての情報が欠落しています。ただし、①と②は同じ収納箱に収められていたことから、同一地点(おそらく古墳)から採取した可能性があります。

いずれの耳環も地金は銅と見られます。①は比較的保存状態が良く、金箔が貼られていることが分かりますが、②と③は錆化が著しく、地金に貼られている金属の種類も肉眼では判別できません。

ここでは、比較資料として山口市秋穂に所在する筈倉古墳から出土した銅地金貼耳環と銅地銀貼耳環を展示します。この2点は、発掘調査歴が明らかであるにも関わらずこれまで未報告であったため、昨年度に保存処理事業を実施し、科学分析も行いました。

本来的な資料価値としては両者に差はありませんが、「情報」が欠落すると学術的価値は急降下します。必然的に、保存処理を施す優先順位も下がることとなります。

優先順位が少しでも上がるよう、皆さま、情報をご提供ください！